

フジテレビジョン V9スタジオ



所在地：東京都港区台場二丁目4番8号
 スタジオ面積：約360㎡
 ホリゾント高：7.15m
 施主：(株)フジテレビジョン
 照明改修施工：東芝エルティエンジニアリング(株)
 照明改修完成：平成25年6月

S231

東京、お台場の名所としても知られるフジテレビ本社ビル。そのメディアタワー内に位置する報道スタジオが、照明システムを改修。24時間365日稼働可能な2重化システムが採用されています。

スタジオ設備の安全性向上とともに照明システム全体をリニューアル。

フジテレビでは東日本大震災の経験を踏まえ、設備の安全性をより向上するためスタジオ上部の作業用通路であるキャットウォークの固定化を決定。既設昇降設備を撤去し、固定キャットウォークとトラスバトンを新設。「スーパーニュース」や「めざましテレビ」などを生放送するV9スタジオの照明システム、バトン昇降システム、調光卓などの全面改修を実施しました。

緊急災害時にも放送を続けるために照明システムを2重化。

V9スタジオは、緊急災害時にもニュースを伝え続ける、フジテレビ報道フロアの中核となるスタジオで、照明システムの電源においても24時間365日落とされることがありません。そのため、いつ、いかなる緊急放送にも対応できる強固な信頼性と優れた操作性の実現を改修の主眼としています。

特徴は、これまでに例のない2重化された照明システムで、主電源から主幹盤、調光器盤にいたるまで2系統の設備を構築。万一どちらか1系統のシステムが使用できなくなった場合でももう1系統から個々のユニット毎へ電力を供給可能な回路設計としています。さらに、両系統ともに無停電電源システムを備え、万全の安全対策を施しているほか、電源の供給状況やシステムの稼働状況などを常時監視・記録可能なリモート監視システムも完備。フジテレビ内の技術オフィスでも、また、サポートセンターでも常に同じ情報を共有し、いかなる緊急事態にも迅速な対応が可能なサポート環境を実現しています。

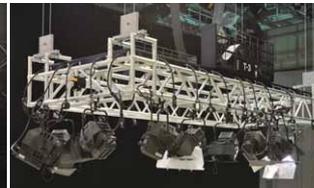
また、優れた操作性を確保するため、調光卓、回制卓ともに指1本でパッチ作業が可能な21.5型ワイドタッチディスプレイを採用。ワイヤレス操作器も導入し、調光用、昇降用ともにサブ調整室と同様の画面が表示され、シームレスな操作感を実現しています。スタジオ内のバトンは、セットの変更が比較的少ないため揺れにくいトラスバトンを採用し、DMX/イーサ変換機も搭載。フロアコンセントもイーサコネクタ付に一斉し、LANによる使い勝手の良さも高めています。



サブ調整室に設置された調光操作卓



固定化されたキャットウォーク



揺れにくい安定性に優れた照明用トラスバトン



調光操作卓と同様の操作画面が表示されるワイヤレス操作器



指1本で感覚的な操作が可能な調光操作卓のワイドタッチディスプレイ



スタジオ内に設置された美術ボタン操作盤(左)、照明ボタン操作盤(右)



調光盤室においてA系統、B系統の電源をユニットごとに切り替え可能な調光器盤

主な設備器具一覧

設置場所	機器名	台数	備考
サブ調整室	インテリジェント型調光操作卓	1式	システムユニット、プリセットユニット(フェーダー40本×2段)×2台、セッティングユニット、エフェクト/メモリーユニット、マスターユニット、プレイバックユニット、サブマスターユニット、制御ラック、21.5型ワイドタッチディスプレイ×2台 他
スタジオ	照明用トラスバトン	5式	
	照明用コンセントダクト	30式	固定キャットワークに設置
	ワイヤレス操作器(調光用、昇降用)	2台	
調光盤室	フロアコンセント	17個	イーサコネクタ含む
	インテリジェント形調光器盤(DIMSTAR-III)	1式	(・調光3kW 172回路・直2kW 35回路)×2重系 UPS回路×2系統